

# わが国の専門家は国際交通の将来を どう見ているか？

## ～アジア地域を対象とした国際交通・経済に関する 将来シナリオ～



港湾研究部 港湾システム研究室 主任研究官 柴崎 隆一

(キーワード) 東アジア, 将来シナリオ, デルファイ法, 国際交通, 国際経済

### 1. 研究の概要

#### (1) 研究目的と成果

東アジア地域を中心とした国際経済や交通のあり方に関する議論や、将来予測を行う際の一助とすることを目的に、同一の回答者（専門家）に複数回（今回は2回）のアンケートを繰り返すことにより、回答者が有する将来見通しの明確化と意見の収斂等を図るデルファイ法に基づいたアンケート調査を行い、最も蓋然性の高い将来シナリオをとりまとめた。

#### (2) 成果の活用

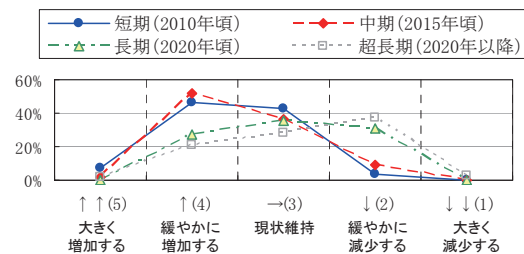
本研究の成果は、国際交通インフラの将来像やそのあり方に関する議論を行う際に、大いに参考となり得るものである。また、調査結果や今回設定した定性シナリオを踏まえて今後定量的なシナリオを設定すれば、国際貿易額や貨物流動量といった貨物需要の将来予測を行う際の入力としても活用が期待される。

### 2. 調査の概要

本調査は、土木学会国際交通ネットワーク戦略研究小委員会（委員長：黒田勝彦神戸大学名誉教授）内に設置された将来シナリオ・ライティングWG（主査：吉田恒昭東京大学教授，阿部一知東京電機大学教授）との連携・協力のもと、実施された。設問内容については、国際経済モデルや国際交通モデルにおける入力や出力結果の検証に利用すると同時に、より幅広く一般的（定性的）な議

論を行う際にも参照できるよう、経済動向、港湾・海運、空港・航空、荷主や陸上輸送の動向など、多数の設問（国際経済分野81問、国際交通分野103問）を用意し、これらの分野を専門とする研究者・実務者に広く協力を呼びかけ、93名から回答を得た。なお、調査結果（例を図-1に示す）および結果に基づき設定されたシナリオについては、文末に記載した参考文献を参照されたい。

問：東アジア諸国の実質経済成長率は、中国を除いて近年4～6%で推移しています。今後、成長率は現状と比較してどのように推移すると考えられますか。



問：世界の国際海上コンテナ貨物需要は、近年（過去5年間）では年平均11%程度の伸びを示しています。今後、この増加率は現状と比較してどのように推移すると考えられますか。

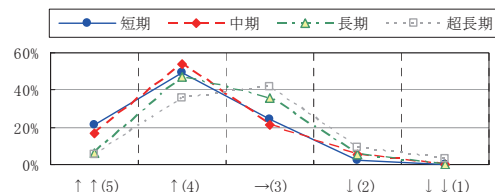


図-1 アンケートの設問と結果の例

#### 【参考文献】

柴崎ら，デルファイ法に基づく国際経済・交通に関する将来シナリオの設定，国土技術政策総合研究所資料第479号（2008年9月）

\*将来シナリオは以下のHPからもダウンロード可能。

<http://www.t-log.info/japan/index.html>